

ふれあい祭が谷津干潟で実施されました ブースいっぱいになった子供たちの笑顔

山本美代子（文化交流部会副部長）

習志野市国際交流協会は6月8日（土）9日（日）、「谷津干潟の日フェスタ」に参加して「ふれあい祭」を実施しました。

雨模様のため心配していましたが、雨にもあたらず大勢の方に楽しんで頂いた2日間でした。

イベントの内容は、親子ワークショップ、フラワーアレンジメント、中国切り紙、NI-Youthによる折り紙です。

親子ワークショップは、出来上がっているリースにぬり絵をして鈴を付けるのですが、それぞれの色の使い方が違い、とてもかわいいリースが完成し、子供たちはご満悦のようでした。フラワーアレンジメントは大人も参加しましたが、やはり子供の参加が多かったです。難しいかと心配しましたが、センス良く上手にまとめていました。中国切り紙は、小さい子から高校生までが参加しましたが、あじさいなどは上手にでき上がり嬉しそうに持ち帰っていきました。折り紙では、終わってテントをたたんだ後も、子供たちはNI-Youthのメンバーとその場で楽しんでいました。

ブース内には各事業や部会の活動を紹介するパネルを掲示、机の上に、ふれあい掲示板NEWS(日本語教室部会)、受入派遣報告冊子、スクウェア、協会設立30周年記念誌などを閲覧用に配置、また、NIAパンフレット、日本語教室部会案内、日本語ボランティア養成講座案内、ホストファミリーボランティア募集案内、スクウェアなどを配布しました。

2日間、子供たちの笑顔がブースいっぱいに広がり、私たちは沢山の元気をもらいました。さらに子供がイベントに参加をしている間に、付き添いの保護者に対して国際交流協会の情報発信することもできました。

来場者は8日が6483人、9日は9033人と主催の谷津干潟自然観察センターから発表がありました。協会のブースイベント参加者は8日が66人、9日が58人、計124人でした。イベント参加の子供の保護者や、イベントには参加せずパネルの閲覧だけの人も含めると、およそ150～200人がブースを訪れたものと思われます。また2日間で25名の協会関係者の方にご協力を頂きました。ありがとうございました。



親子ワークショップでリースを作ります(左)
中国切り紙の作品(上)
フラワーアレンジメントは大人と一緒に(右)

